

受章おめでとうございます

春の叙勲・褒章の受章者を紹介します。

春の叙勲 瑞宝単光章（消防功労）

吉田 司さん
よした つかさ

（福島・伊万里釜、70）



昭和37年1月に福島町消防団に入団。昭和60年に副分団長、昭和62年に分団長に昇進し、常に率先垂範して消防の任務を遂行されました。平成13年には団長に就任し、旺盛なる責任感と積極的な実行力で災害現場での指揮、若手団員の指導育成に力を注がれました。さらに、平成18年1月の1市2町の合併時には、新市消防団の総括副団長として、豊富な知識と経験を活かし、消防団の円滑な運営に尽力されるなど、33年10カ月の永きにわたる職責を完遂され、消防人としての堅実な行動と活躍で地域の安全に大きく貢献されました。

金井田 弘さん
かないだ ひろし

（鷹島・黒島、82）



昭和38年1月、地域住民の要望に答えて鷹島村消防団に入団し、旺盛なる責任感と積極的な実行力を発揮し、消防の任務遂行にまい進されました。昭和52年に班長、昭和54年に副分団長、昭和59年に分団長に昇進し、災害現場だけでなく、訓練の場においても若手団員の指導育成に力を注ぎ、39年3カ月の永きにわたる職責を完遂されました。所属分団が離島であり、本土からの応援体制が容易でないため、火災予防や初期消火などの効果を特に重視され、火災想定訓練の実施に寄与されました。

藍綬褒章（社会福祉功績）

永益 幹子さん
ながます みきこ

（星鹿・下田、78）



昭和61年7月、民生・児童委員に就任してから27年間の永きにわたり、生活困窮世帯の救済、被保護世帯の自立助長・更生に尽力され、また、松浦更生保護女性会会長として社会福祉の増進に努められました。そのほか松浦文化協会会長をはじめ、松浦市食生活改善推進委員会委員、松浦市民憲章検討委員会委員を歴任されるなど、卓越した識見と経験により幅広い活動に尽力され、民生の安定と地域住民の福祉向上に大きく貢献されました。

長崎県道場少年 剣道大会 優勝

池田 光騎くん
いけだ ひかりくん

（御厨小6年）



第37回長崎県道場少年剣道大会（4月27日開催、諫早市）において、池田光騎くんが、小学生個人男子の部で見事に優勝し、全国大会への出場を決めました。池田くんが剣道を始めたのは5歳のとき。所属する道場「興星館」で稽古を重ね、着々と実力をつけていきました。大会には、県内の各道場を代表する少年剣士45人が出場しました。初戦は緊張からやや苦戦する場面があったものの勝ち進むにつれ本来の実力を発揮。気迫に満ちた攻めの剣道で初戦から準決勝までは全て2本勝ち、決勝では1本勝ちで勝利し、圧倒的な力を見せての優勝となりました。10月12日に宮崎市で開催される全国道場少年剣道選手権大会での活躍が期待されます。



ブレندان・ピアス
Brendan Pierce
アメリカ出身

今回は、アメリカの大学生活を紹介したいと思います。
私は、ちょうど1年前にアメリカ・ミネソタ州セントポール市にあるマカレスター・カレッジを卒業しました。この大学は、学生2,000人の小規模校で、一般教養科目(語学・文学・自然科学・哲学・歴史)を教えています。学生の20%が海外からの留学生で、また75%の学生が在学中に海外で勉強します(私は2年前に東京に留学しました)。

多くの学生が大学敷地内の寮で生活をします。授業は少人数で行われます。私がとっていた講義は、20人規模が多く、専門は地理学と環境学だったので、世界のあらゆる出来事について、議論を交わしました。教授たちは時々食に招待してくれて、学生たちと近い関係にあります。私の大学は学業的にはとても大変で、毎週

15ページの論文提出と、テキストは少なくとも200ページ読まないといけませんでした。この課題は、マイナス30度となる冬の季節は特に厳しいものでした(ミネソタ州はアメリカで最も寒い州です)。

このような中でも、多くの学生は討論やフリスビー競技、クロスカントリーといったクラブ活動をしています。私のお気に入りのクラブは、「チーム・アジア」で、日本や韓国のポップソングに合わせて踊ったり、ソーラン節のような伝統的な音楽に合わせて踊っていました。ほかにも私は、「フライング・フィンガー」というミュージカル・グループに入り、伝統的なアイルランドの民謡をギター演奏していました。

松浦での生活は、大学生活とは全く異なりますが、私は皆さんの一員であることをとても楽しんでいて、これからもどんなことが起きるのか楽しみです。



▲東京に留学したとき



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『僕の世界は輝く』 山本弘 / 著 講談社

もともと不幸な境遇だった少年・光輝が傷害事件で脳を損傷し失明しますが、アントン症候群を発症したことから、以前よりも明るい性格となり前向きに生きられるようになります。光輝が脳の想像力によるまなざしで美少女(?)と謎の事件に立ち向かう青春ミステリー小説です。



『おじいちゃんとのやくそく』 石津ちひろ / 文 松成真理子 / 絵 光村教育図書

大の仲良しだったおじいちゃんが亡くなり、悲しくてたまらないのぞみは、ある日おじいちゃんの夢を見ます。おじいちゃんの木に話しかけることで、心が少しずついやされていきます。やわらかな水彩で描かれた、やさしいっぱいの絵本です。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



志佐町浦免の田中寿美子さんと優唯奈ちゃん(6歳)と希龍くん(3歳)

【お気に入りの本】

『いいものもらった』 森山京 / さく 村上勉 / え 小峰書店

『おばけのおつかい』 西平あかね / さく 福音館書店

『おねえさんといもうと』 ル=ホエン・ファミ / さく ひろはたえりこ / やく 小峰書店

【お母さんからひとこと】

私が幼いころ、絵本を読んでもらった経験が少なかったことから、子どもにはいろいろなお話を聞かせてあげたいと思い、わが家では長女が1歳ごろから毎日、絵本の読み聞かせを行っております。寝る準備ができたなら、二人の子どもたちは本棚からそれぞれ読みたい絵本を2、3冊、多いときは5、6冊取り出し、布団に持ってきます。私も主人も子どもたちと一緒に絵本タイムを楽しんでいます。長女は、ひらがなが読めるようになり、長男はストーリーを理解できるようになり、二人とも「絵本大好きっ子！」に育っています。保育園帰りに図書館へ行くのも楽しいようで、これからも図書館にある多くの絵本と自宅の絵本を通して感受性の豊かな子に育ててほしいなと思います。